



しずおか 県民児協だより

第9号

平成17年2月1日発行

〔題字：静岡県知事 石川嘉延 書〕

編集発行 / 静岡県民生委員児童委員協議会 〒420-8670 静岡市駿府町1-70 静岡県社会福祉協議会内
電話054-254-5244 FAX054-251-7508

「親子一緒に 昔の遊びを体験しよう」



(活動の様子)

引佐町民生委員・児童委員協議会

会長 前嶋 勝治

引佐町では、平成14年に各団体が参加する「子育て支援ネットワーク」が発足し、支援活動や研修会を推進してきました。

こうした中、「町民がひとつになつて育児中の親子を支えてあげたい。」という強い願いのもとに、地域住民の主体的参加による「いなさっ子フェスティバル」が、平成16年6月6日に開催されました。このフェスティバルは、各団体が、それぞれの特色を生かし工夫したコーナーを設け、来場者にさまざまな体験をってもらうことを目的としたものです。

引佐町民児協も「昔の遊び」として14種類（あやとり、おはじき、コマ、シャボン玉等）を用意して全員で参加しました。

遊びに対する子どもたちの好奇心は旺盛です。民児協のコーナーにも、たくさんのお親子が集まってくれました。そして、子どもにあやとりができるまで真剣になつて教えたお母さん、コマを上手にまわして周囲の人にほめられ喜色満面の男の子、両親が見守るなか笑顔でシャボン玉をとばす幼子。親子の語らいとふれあい、親子と民生・児童委員の交流が、明るく和やかな雰囲気につつまれて展開されました。

好評をいただいたので、10月には引佐町恒例の「ふれあい健康まつり」にも、民児協独自のイベントとして加え、地域の親子との交流を深めることに努めました。

「昔の遊び」の活動は、わたしたち世代の経験と技術を活かすことによつて、多くの親子と知り合い、親密な交流ができたことに大きな意義があるとともに、民生委員・児童委員協議会の活動を地域の皆さんに御理解をいただくうえでも役立ったと思っています。

第74回全国民生委員児童委員大会

（開催地 静岡市）
期日 平成17年11月9日（水）～10日（木）

全国各地で活動する民生委員・児童委員がそれぞれの活動を持ち寄り、活動の専門技術の共有や交流を進めるとともに、これからの民生委員・児童委員活動の一層の充実をめざすことを目的に静岡県において開催されます。

この大会は過去73回開催されておりますが、静岡県においての開催は初めてです。全国民生委員児童委員連合会にて決定がなされたのを受け、静岡県民生委員児童委員協議会においては、理事会・総会において経過・概要説明を行い、県下法定地区民児協会長に支援要請をお願いしたところとです。

この大会に向けては、「民生委員・児童委員自身の大会」であるということ念頭に置き、県内民生委員・児童委員が一丸となって準備を進めていくことで合意がなされました。ここで、大会の概要及び取り組み状況を御案内いたします。

大会準備委員会の設置

静岡県民生委員児童委員協議会の理事・監事全員を5委員会に配置
大会運営委員会
式典プログラムの企画・運営
特別講義講師の検討
係員動員計画

アトラクション委員会

オープニング、アトラクションの企画・運営
民生委員の歌斉唱



広報・記念事業委員会

展示物の企画・運営
県内民児協の活動紹介
記念グッズの企画
大会報告書の企画

活動交流集委員会

活動交流集の企画・運営
受付・もてなし委員会
歓迎・見送り体制の検討

会場案内・誘導体制の検討

会場案内・誘導体制の検討
受付・もてなしコーナーの検討



主催者

全国民生委員児童委員連合会・全国社会福祉協議会・厚生労働省・静岡県民生委員児童委員協議会・静岡県社会福祉協議会・静岡市市民生委員児童委員協議会・静岡市社会福祉協議会・静岡市を（予定）

式典概要

11月9日（水）12時30分～16時

会場 静岡県コンベンションアーツセンター「ケランシップ」（静岡市）

内容 オープニング、表彰、特別講義、大会宣言、民生委員の歌斉唱、アトラクション

活動交流集

11月10日（木）9時30分～12時30分

会場 静岡市内の16会場を実施（1会場参加者 200人～300人）

テーマ 16のテーマに沿って運営

企画 県内の16地区民児協において

企画

企画





写真は、第73回岡山大会の様子です。

参加者

4,000人

(県外参加者2,000人、県内参加者2,000人)

県内協力者 500人

* 昨年は民生委員・児童委員の改選期のため、委員の交代が多くありましたが、大会の趣旨・準備等の状況が全民生委員・児童委員に周知できるように地区民児協の会長にお願いするとともに、この大会への全民生委員・児童委員の御支援・御協力を切にお願いいたします。

大会宣言

平成16年10月28日

第73回全国民生委員児童委員大会

(開催地 岡山市)

去る平成16年10月28日、29日、岡山市において平成16年度第73回全国民生委員児童委員大会が開催され、式典において次のとおり「大会宣言」が採択されましたので、御報告申し上げます。

今日、市町村合併など地方自治の再編が進められ、地方分権化の理念をふまえ、地域の特性を活かした福祉施策の拡充や福祉活動の創造が求められています。このため、効率のよい住民サービスの開発とともに、きめ細かな配慮に基づく福祉施策・活動を目指した取り組みが必要とされています。

こうしたなか、失業等を背景とした生活問題が増大するとともに、地域社会での連帯感が希薄化し、孤立化が進行して、国民一人ひとりの生活は大きな不安にさらされています。昨年度の児童虐待の相談処理件数は過去最多にのぼり、今なお続発

する様相を示しております。また、高齢者への虐待や、生活苦などを理由とした自殺者が増加するなど、相談の抛り所や解決の手立てを持たずに悩みを抱え苦しむ人びとも少なくありません。

私たち民生委員・児童委員は、常に住民の立場に立つて相談・支援活動をすすめていくなかで、また、新たな社会的課題として、従来の公的な制度の枠組みのみでは解決しがたい不安や孤独、孤立、引きこもりなど地域のなかに潜在するさまざまな福祉ニーズや問題を察知し、課題を抱える家庭等の生活自立を支援していくことが求められています。そのため、地域社会における相談の機会づくり、あるいは、高齢者や障害者、子育て家庭のサロン活動など、地域社会における共生をすすめるための「機会」や「つながり」が得られる場づくりに取り組むことが重要だと考えます。

私たち民生委員・児童委員は、この地域福祉の進展の時代に、地域住民の参加、協力を推し進めるとともに、地域住民の立場に立つて相談・支援活動を展開し、福祉計画づくりへの参画など活動の一層の強化をすすめるため、次のとおり宣言します。

一、地域の中に現れた課題の把握とともに、見えずに潜んでいる課題の発見に努め、住民一人ひとりのニーズや悩みを受け止め、身近な相談・支援者としての活動をすすめます。

一、子育てサロン活動などを通して、子育て家庭の孤立化を防ぐとともに、児童虐待の予防的活動を展開し、地域で安心して子育てができる環境づくりに取り組みます。

一、地域の実情に応じた福祉活動の推進役として、地域住民の参加や他機関等との連携・協働を通して、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に努めます。

一、基本的な人権についての理解を深め、常に自らの活動を点検し、住民との信頼関係に基づく活動をすすめます。

新任委員に伝えたいこと

富士宮市民生委員児童委員協議会

井出 信子

1 福祉をとりまく社会情勢

いま、大きく変化していく社会の実情に合わせて、福祉に対する考え方が、従来とは違った視点で捉えられています。

平成十二年に介護保険制度が実施され、福祉制度の抜本的な見直しをはじめ、民生委員法も一部改正され「住民の立場に立った相談援助」になり、いままで行政の「措置」によって行われていたいろいろな福祉サービスが、個人の契約によって利用できることになりました。

2 民生委員の職務について

個人の基本的な人権を守り、誰もが住みよい社会の構築を目指し、民生委員の職務も、救貧や家庭の問題解決だけでなく、地域に住むすべての人々が、幸せな生活ができるように、地域福祉にも取り組むことが大切です。

また、こうした活動の場においては、地

域の人々と協働することは勿論ですが、常にリーダー的資質が求められます。さらに職務を遂行するにあたっては、常に公正・公平に心がけることが求められます。

3 守秘義務について

民生委員活動において個人の秘密保持が、最も大切な要件となります。職務上知り得た情報は、他に漏らすことのないようにしましょう。このことを全うすることが、地域の人々に信頼される民生委員の第一歩です。

4 その他注意したいこと

前述の守秘義務は当然のことですが、いろいろな相談が寄せられますので、相手の立場に立って考え、いたずらに自分の知識

や体験を押し付けたりしないようにしたいものです。

また、関係機関への連絡は常に密にし、一人で問題を抱え込まないことも大切です。「虐待」などは発見しにくい問題です。変だなと思ったら迷わずに関係機関に連絡し、早めの対応が肝心です。

5 災害時の対策について

地域の防災組織の一員となり、常に自治体との連携を図り、民生委員として保持する要支援者の情報が、「いざ」という時に十分活用できるようにしたいものです。勿論、この場合でも、最大限の守秘義務に配慮することは当然です。

6 その他

常に体調を整え、明るく気軽に人々と接することができるように努力することも民生委員として大切な事柄です。いつもにこやかに相手の立場を尊重する態度が、真に「住民の立場に立つ」姿勢だと考えます。

新任民生委員に伝えたいこと

～民生委員を終えるにあたって今思うこと

浜松市民生委員児童委員協議会

八木 象才

民生委員は、公平で相談し易い雰囲気を持つて相手に接することが大切で、常に自己の研鑽に努め、委員らしく成長することが必要です。対象者は黙って民生委員を評価していません。

無報酬の報酬と信条の暗唱

名譽職から無報酬の報酬に変わったといわれ、人並みにわかったつもりでいました。それは、全く何らかの報酬も何の名譽も利益も求めない無報酬の隣人愛の気持ちのことでした。自らの支援活動を通して対象者が自立することを喜びとし、これを真の報酬とする意義の深さが、今、納得できるようになりました。これは筆舌に尽しがたい尊い制度の特徴で、民生委員が最初に理解しておく重点目標です。

何をしたら良いか、活動記録の書き方すらわからない初めての全員研修会で、信条の朗読を暗唱していた会長さんがいました。私も一念発起して始めましたが、年齢と共に記

憶力が弱くなり、月一回の民協では元の木阿弥でした。入浴時に毎日唱えていると、目標が少しずつ見えてくるようになりました。信条を頭に叩き込めば日常の活動に役立ちます。

委嘱状の重みと福祉ボランティア

民生委員児童委員は厚生労働大臣の委嘱であり、職務の優先順位第一といわれます。自らの健康状態や家庭の事情は別として、公的立場の役職や私的な会の代表、趣味の会等と重なり出欠に悩む時、判断の尺度とします。

一斉改選直後に自治連代表の会長さんが、「我々自治会長は全くのボランティアだからと民生委員児童委員は準公務員だからね」と期待を込めて言われました。そのくらい民生委員に対する信頼は厚いのです。隣人愛を根底に相談や支援活動を、余力は福祉ボランティアに努めることが民生委員の第一歩と考えます。

大切にする月一回の情報交換の場

月一回の民協は、情報交換や研修の場であり、困った事例を相談する唯一の機会です。介護保険の恩恵に皆、浴せるはずなのに、他人の世話になりたくないという固辞する方がいます。切羽詰まって申し出た時には、すぐ対応してほしいです。そのためには、数多くの情報や事例を持ち、いち速く的確に対処するのが民生委員です。

ケアマネジャーが「どうしますか」と言ってくれた時は、通夜だったという事例もあります。我慢の限界を洞察し、後手にならないことです。

民協だけは休みたくない。参加が待たれる大事な会に互いに協力し、皆で育て上げます。

民生委員と切り離せない地区社協

小地域ボランティアが、地域福祉の名の下に民生委員の役割の中で広がっています。地区社協と同じ波長のボランティア活動です。

民生委員の協力なくして地区社協は成り立ちません。隣人愛を基本に福祉ボランティアを発掘し、民生委員の協力で結末で地区社協を支えることが大きな課題となっています。

障害者や子ども・高齢者が安全で安心して暮らす住みよい街となるよう、健康に留意し、地域への恩返し福祉を通してできるのは、民生委員冥利というものではないでしょうか。

ひろば

下田市ふれあい広場のバザーについて



下田市民生委員児童委員協議会

渡辺 政治

「人がほほえみ、地域がほほえむ、誰もが暮らしやすいまちづくり」をテーマにして、去る十月十七日、第二十四回下田市ふれあい広場が開催されました。この協賛団体は二十八で、好評のうちに市民二千人の参加を得ることができました。

民協では、当初よりバザーコーナーを設置し、女性部の活動としてスタートしたものです。しかし最近では、男性部員の協力を得て、ほぼ全員による参加で行われております。

バザーの物品は、民協全員による持込品とともに、市内各区に回覧板で、物品提供（新しいもの）をお願いし、最寄りの民生委員名簿を添付し、連絡を待ちます。

市民からの協力は、約二千五百点におよびました。その物品は、会場近くに集め、開催前日に全員による手渡しで、会場へ搬入します。

それを物品別に仕分け、つづいて値付け作業（市価より安く）を行います。値付けが終わると、販売台に展示、翌日のセールに期待を込めます。

当日、広報で知った市民の人達が、競って会場につめかけ、売り子の顔も緊張します。

売り子、包装、手渡し係、キャッシュヤー係がグループを組み、手際よく、売り捌きます。好みのものを安く買った喜びの顔が、会場を包みます。売り子は、昼食時間も先送りして、一気に完売を目指します。

その日の売上金は、三十万八千円で、全額社協に寄付しました。他団体の寄付合計からみると、その七割が民協からのものでした。

前日からの疲れも忘れ、全員によるさわやかな汗は、ほほえみとともに明日への力の源となつた一日でした。

地道の活動



熱海市民生委員児童委員協議会

羽田 次助

民生児童委員を受けて早いもので九期目に入った。私達の活動については、一日としてその功績を見ることは少なく、調査、研修することと実践してもなかなか思うように行かず、そして効果を見ることがはまれのように思う。今年には台風の襲来が多く、それに強力であった。さらに追い打ちをかけるように、新潟中越地震、被害も予想外に大きく、今だ余震も続いている。

いつ大地震が発生しても不思議はない東海地震、また、相模湾を震源とする神奈川県西部地震も注目されているが、災害について、心の準備も必要である。

熱海市でも高齢化が進んでおり、一人住まいを訪問して、地震について話をしても防災には無関心の高齢者が多く、非常持ち出し品などの用意をしているのが実感でなく、自己防衛意識に欠けているのが実感である。これからの福祉を考えると、地域住民との交流、向う三軒両隣はもとより、温もりのある友愛の絆を築いておくことの大切さを感じると共に、私達がこれから活動して行く中で最も重要なことと感じている。また、街づくり、環境づくりを進め、町内会役員とも連携を密に、高齢者、体の不自由な人たちの避難誘導をどのようにすれば良いのか相談をしながら、安心に暮らせる明るい街づくりに努めて行きたいと思っている。

ある提案



静岡市民生委員児童委員協議会

宇佐美 幹雄

民生委員児童委員には、それぞれ担当区域がある。その中に、自分の住んでいる町とそうではない町とがある。

自分の住んでいる町は日頃の生活圏内にあるので、内部の事情は把握することができる。

しかし、自分の住んでいない町は、全く事情が分らない。

着任した当初、交番へ行つて、住民の名前を覚えてもらいたいとお願ひしたが、断られた。

ところが、その町では毎年、住民の氏名を一覧表に印刷して配布しており、その中に民生児童委員の氏名も記入されていた。

これはありがたいことであつて、この町の住民からは多くの相談が寄せられた。

町の住民にその町を担当する民生児童委員が誰であるかを知らせることは、民生児童委員活動の出発点である。

これを解決する方法として、町を巡回する回覧板の片隅に、その町を担当する民生児童委員の氏名と住所・電話番号などを記したシールを添付するようにしたらどうだろうか。回覧板は町や組ごとに町内会長のお宅に届けられる。そのとき、民生児童委員がお伺ひして記名させてもらつてもよい。なによりも、わたしたちの氏名が住民に徹底することが大切である。

歌おう、民生委員の歌



島田市民生委員児童委員協議会

千澤 忠義

「花咲く郷土」の歌は音楽に興味のない私でも、月末の「友愛安否確認訪問」のときなどは、思わずくちずさみます。また、この歌は、ある地区民児協では全員で合唱されていますが、心温まる地区運営の一端が窺えます。一番「愛の小鳩が、羽ばたくよ。」ある日、玄関のチャイムが鳴り、出てみると、着飾った子どもさんとお母さんが微笑んで立っておられ、「お陰様で今日、小学校の入学式に親子で出席できました。保育園在園中は「証明書」発行を始め、色々お世話になりました。今日はそのお礼に伺いました。」とのこと。証明事務は、民生委員の大切な役割ですが、意外に感謝されていることを痛感しました。三番「交わす誓いに結ぶ手に」私達の地域では、「小学校、社会福祉協議会の御協力を得て、「人生の経験を重ねてきた一人住まいの高齢者と小学校四年生」により、小学校の体育館を利用して、年一回「ふれあい交流会」を開催して七回を数えま

概要は、保健師による高齢者を対象にした健康の話と体操。小学生と小学生による楽器の演奏、合唱、踊り、高齢者と小学生で小グループを編成して入学式に飾る「チューリップの植え付けの共同作業」、新旧の遊具を使つての「楽しく遊ぼう」、学童が準備する「給食と一緒に食べよう」等であり、高齢者と笑顔の中で汗を流し、楽しくすごします。このふれあいを通して、高齢者と友達となつた子どもさんは五百数十人になります。この歌を愛唱し、行動することにより、更に安全で、楽しく生活できる地域づくりを協力したいものです。

「感想」第73回全国民生委員大会(岡山大会)に参加して



浜松市民生委員児童委員協議会

関 和男

おはようございます、くくろうさま、のすがすがしい声を受け会場に入りました。全国的な市町村合併に伴い「まちとむら」との共存へと、「大きく変わる福祉の今日から明日へ」について考えるため、16ある活動交流集会の一つ「三世代交流を通じたむらづくり」に参加しました。感じたことは、高齢化そして、核家族化の進行により（高齢者の一人暮らし、高齢者だけの世帯、若い親子だけの世帯）が増える現状、三つの世代「祖父母、父母、子ども」が一緒になつて、支え合い、話し合う、三世代の輪、つまり伝統的な遊びや、昔ながらの知恵を教えてもらう交流を通じ、地域の人の顔がみえ、和やかさが生まれ、ふれあいの場が推進されます。岡山県の山あいのむらでは過疎地なりに、友愛訪問に、毎日の暮らしの中で「声かけて、声かけられて、生きるむら」の気持ちを中心に留め、活動しているとのこと。講師の話の中にも、祖父母と同居している子どもも、祖父母と遊んだり、共に過ごす時間も減少しているとのこと。これからはどこにもある郷土文化の継承（料理、伝統芸能、まつり）、また、郷土を理解するための取組み（歴史、言い伝え、昔話）、次の世代へうまく継ぐことの大切さを教わり、そのためにも、民生児童委員として、まず民生委員信条を基本と考え活動することで、より成果が期待できるものと思えます。次の第74回全国大会は静岡県で開かれます。頑張りましょう。

たった一人の卒業式



森町民生委員児童委員協議会

山下 宗一

「はい。」と元気な声。同級生とは一緒に参加できず、担任の呼名で一人だけの卒業式が始まる。学校長から卒業証書の授与、そして、はなむけの言葉がおくられる。彼女の胸中はどうなだろう。きつと喜びに溢れ感激しているに違いない。関係者六人が見守り私も同席、後ろでは母親が涙ぐんでいる。彼女は、一年生当時からクラスに入れず不登校気味。ある時「相談室、寂しいから遊びに来て。」と声かけをする。しばらくしてから相談室登校が始まる。そして進学のための勉強に専念、無事卒業、念願の高校に合格する。喜びもつかの間、母親は四十代の若さで突然死、悲しみにもめげず、彼女は、今も元気で高校生活を送っている。私は、心の教室相談員として中学校に週三日、一日四時間の勤務。中学生の問題行動は、悩み、不安、ストレス等心に起因することが多い。これらの生徒の悩み等を気軽に話をさせ、ストレスを和らげ、心の支えになる相談活動をするのが趣旨である。学校では、多くの子ども達が悩みを持っている。具体的な行動を通して早く手を差し延べなければ、事態の解消はない。今こそ、我々民生委員は、時代を担う子ども達に心のふれあいを求めて、声かけ、相談、支援の輪を広げ、苦しんでいる子ども達を一人でも多く救いたいものである。

平成16年度 叙勲・大会等表彰の紹介

叙勲

瑞宝単光章

(平成16年4月29日付)

竹中 いよ (島田市)

瑞宝単光章

(平成16年11月3日付)

中川 美重子 (湖西市)

褒章

藍綬褒章

(平成16年4月29日付)

山本 三朗 (沼津市)

厚生労働大臣表彰

(平成16年11月12日付)

- 柏木 雅男 (蒲原町)
- 羽毛田 次助 (熱海市)
- 今川 勝雄 (水窪町)
- 柴崎 鎮子 (熱海市)
- 大石 みつ子 (静岡市)
- 丸尾 恒雄 (静岡市)
- 杉山 貢 (静岡市)
- 岸 徳 (浜松市)
- 荻野 英子 (浜松市)

優良活動団体

浜北市民生委員・児童委員協議会 「つくしくみ」

静岡県知事表彰

(1) 静岡県表彰条例

(平成16年11月3日付)

- 市川 秀雄 (浜松市)
- 加藤 峯夫 (沼津市)
- 川島 英子 (浜松市)
- 木本 秀子 (富士市)
- 鈴木 昭雄 (三島市)
- 峰村 全子 (富士市)

(2) 静岡県健康福祉大会

(平成16年10月20日付)

- 佐野 日咲枝 (富士宮市)
- 佐野 安俊 (富士宮市)
- 戸川 衛 (富士宮市)
- 竹川 春美 (富士宮市)
- 遠藤 隆子 (富士宮市)
- 渡邊 守 (静岡市)
- 堀内 和子 (掛川市)
- 後藤 弘一 (掛川市)
- 尾崎 壽賀子 (磐田市)
- 名倉 松雄 (清水町)
- 朝原 鈴夫 (由比町)
- 大場 義一 (森町)

全国社会福祉協議会会長表彰

(平成16年11月12日付)

- 山本 伊三郎 (富士市)
- 高村 とみ子 (新居町)
- 堀川 繁子 (新居町)
- 佐野 日咲枝 (富士宮市)
- 帯金 行夫 (富士市)
- 小池 勇雄 (富士市)
- 鈴木 浩一 (伊豆長岡町)
- 清水 ちず子 (新居町)
- 若松 千鶴子 (熱海市)

全国民生委員児童委員連合会会長表彰

(平成16年10月28日付)

(1) 優良民生委員児童委員協議会表彰
焼津市港地区民生委員児童委員協議会

(2) 永年勤続単位民生委員児童委員協議会会長表彰

- 土屋 正 (伊東市)
- 風間 克巳 (三島市)
- 新村 喜久男 (焼津市)

(3) 永年勤続民生委員・児童委員功勞表彰

10名表彰

(4) 永年勤続民生委員・児童委員表彰

71名表彰

事務局からのお知らせ

今後の予定

平成十七年度総会

六月三日(グランシップ会議ホール風・静岡市)

編集後記

私たちは必ず何かと繋がりをもって
いて、それは人であったり自然であつ
たりします。だから、人を敬う心や自
然を大切にすることを忘れたとき、むや
みに人と争ったり、自分の都合だけで
自然を傷つけたりします。

一斉改選後、日も浅い今、お互い同
士まだ十分に意思の疎通が図られてい
ないと思います。一日も早く心の繋が
りができるよう努力しましょう。

いよいよ、本県で開催の全国民生委
員・児童委員大会本番の年を迎えまし
た。準備は着々と進められてはありま
すが、県下全児協の心が一つになる
ことが、成否の鍵となります。直接参
加の有無は別として、御協力を心より
お願いいたします。

「地域福祉計画」や「地域福祉行動
計画」の策定もいよいよ大詰めを迎え
ます。共に生き、分け隔てなく生きる
世の中を目指して、私たちとしてでき
る限りの参画をしていきたいもので
す。

今年が皆様にとって幸多い年であり
ますよう、そして精一杯の御活躍がで
きますよう御祈念致します。(大)